

# 【甲府市中心市街地活性化基本計画概要図】

活性化の目標(全体のテーマ:将来像)「かがやく個性、ひびく感性、ふれあう心、そして心地のよい景観のまち甲府」

## 基本方針

### ①見て楽しみ、買って楽しめる 中心市街地

- 商業の振興は重要課題であるため、新たな拠点整備、駐車場の整備等と連携し、商店街の魅力向上はもとより、通りの環境整備等により心地よい街並みを形成するなど、甲府の中心市街地を個性的にメイクアップし、にぎわいの創出と利便性の向上を図る必要がある。
- 住む人、訪れる人の両方にとって楽しいまちを目指す。

### ②歴史、文化、芸術が薫る 中心市街地

- 舞鶴城公園や甲府駅北口の拠点施設、また、市内に点在する地域資源の活用、さらには回遊道路等の整備により、武田信玄の時代や江戸時代の城下町であり、明治以降の商業や行政の中心であった本市の歴史と文化、芸術を感じられるまちを目指す。

### ③まちとつながる、人とつながる 中心市街地

- バリアフリーの道路改良、緑化推進、まちの杜の整備、公共交通の利便性向上等により、高齢者や障害者、交通弱者等のすべての人にやさしいまちを目指す。
- 周辺を山に囲まれた豊富な自然環境と、都市機能を併せ持つ中心市街地の魅力ある暮らしを楽しむまちを目指す。

## 活性化の目標

### 目標① 空き店舗を解消する

《数値目標》  
**空き店舗数**  
基準値: 231店舗(平成25年度)  
目標値: 173店舗(平成31年度)

### 目標② 来街者を増やす

《数値目標》  
**歩行者通行量**  
基準値: 151,626人(平成25年度)  
目標値: 186,564人(平成31年度)

### 目標③ 定住を促進する

《数値目標》  
**居住人口**  
基準値: 5,527人(平成26年4月1日)  
目標値: 5,817人(平成32年4月1日)

## 活性化に向けた主な事業

- ① 空き店舗活用事業
- ② 小グループ自主的取組支援事業
- ③ まちなか不動産バンク事業

### 【関連する事業】

- ① ストリート再生チーム事業
- ② 提案型による中心市街地活性化事業
- ③ (仮称)甲府中央一丁目地区優良建築物等整備事業

- ① まちなか回遊道路整備事業
- ② (仮称)甲府中央一丁目地区優良建築物等整備事業
- ③ 県庁耐震化等整備事業

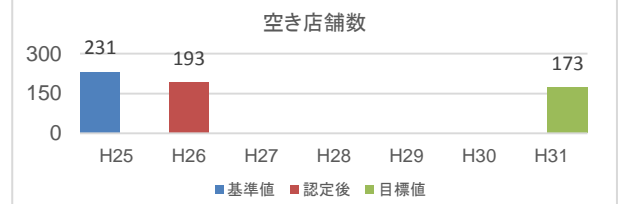
### 【関連する事業】

- ① 甲府駅南口周辺地域景観整備事業・甲府駅南口駅前広場
- ② 甲府駅南口周辺地域景観整備事業・平和通り
- ③ 空き店舗活用事業
- ④ 小グループ自主的取組支援事業
- ⑤ まちなか不動産バンク事業
- ⑥ 甲府駅周辺土地区画整理事業

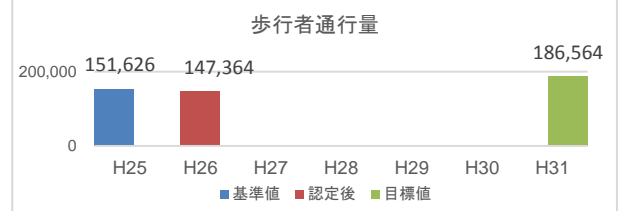
- ① 中心市街地定住促進住宅取得・改修支援事業
- ② (仮称)甲府中央一丁目地区優良建築物等整備事業
- ③ まちなか不動産バンク事業

## 事業効果と指標状況

- ① 平成25年度より、制度を拡充し、制度が認知されてきたこともあり、平成25年度実績7件から平成26年度実績12件へと1.7倍の増加となった。
- ② 小グループ自主的取組支援事業を活用して空き店舗の解消に繋がったのは、「エンターテイメント・GAZ」、「アフターオフィス事業」、「KOFU FOOD VILLAGE」の3件である。
- ③ 平成26年10月に事業を開始し、現在、事業用物件7件の登録があるが、成約実績はまだない。



- 平成26年度に、歩行者通行量の目標値算出の基礎とした事業のうち、実施された事業は民間事業である「GAZ KOFU」の整備と通信制大学サテライトキャンパス開講、ココリのリニューアルとなっている。ココリについては、平成27年3月20日リニューアルのため、平成26年度歩行者通行量(平成26年11月28日(金)～30日(日)実施)には反映されていない。また、目標値算出の基礎とした事業のほとんどが事業開始前であることから、平成26年度の効果は未発現となっている。



- ① 中心市街地定住促進住宅取得・改修支援事業については、13人の定住人口増加につながった。
- ② 平成26年12月より解体作業が始まっており、平成29年度に完成予定。
- ③ 平成26年10月に事業を開始したが、これまで居住用物件の登録はないため、実績はまだない。

